

# 大子町地域公共交通再編計画 概要版

## ■ 計画策定の目的

本町では、地域の課題や地域公共交通の現状・問題点などを踏まえ、町が目指す将来像を実現する上で公共交通の果たすべき役割を明らかにするとともに、地域住民の暮らしと外出を支援し、かつ、持続可能な公共交通を実現するため、その基本方針、施策体系を示すマスタープランとして「大子町地域公共交通計画」を令和5年3月に策定しました。

同計画に基づき、本町にとって最適な地域公共交通網を形成するための具体的な取組として、公共交通再編事業を定め、そのアクションプランとして、「大子町地域公共交通再編計画」を策定します。

## ■ 実施区域

本計画の実施区域は、公共交通計画の区域と同じ大子町全域とします。

なお、既存の公共交通には、水戸市、福島県郡山市間を運行するJR水郡線や常陸太田市の中心市街地行きの路線バスと接続する路線バスなど広域的に運行する公共交通もあることから、必要に応じて、関係市町村や交通事業者と協議を行うこととします。

## ■ 計画期間

本計画の期間は、公共交通計画の計画期間に合わせて、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

再編後は、PDCAサイクルの考え方に沿って、利用状況と運行収支のモニタリングを継続して行い、社会情勢の変化や公共交通に及ぼす要因などもふまえて、計画期間内において適宜、見直しを行います。

また、本計画の評価・検証を行い、計画期間終了後も持続的な公共交通網の構築に向けて施策・事業の検討・実施を行います。

## ■ 公共交通の再編方針

### <AI乗合タクシー>

#### ■ 現在

- ・市街地内の移動、地域と市街地を結ぶ役割を担う。
- ・会員登録制のデマンド型乗合タクシーで、運行形態は自由経路ミーティングポイント型。
- ・利用者は増加傾向にある。

#### ⇒ ■ 拡充

- ・町の公共交通の基軸に位置づけ、縮小する交通モードの受け皿として運行台数や運行日数の拡大を図る。
- ・生活利用及び観光利用の増加を図るため、利用促進の取組を行う。

### <新たな交通システム>

#### ■ 新規

- ・観光客を対象とした新規路線バスの運行や常陸大子駅周辺の市街地の回遊性向上に向けた小さな交通など、新たな交通システムの導入を検討する。

### <障害者等通院送迎サービス>

#### ■ 現在

- ・障がい者や高齢者の通院手段として機能
- ・利用者は増加傾向にある。

#### ⇒ ■ 現状維持

- ・現状維持を基本とする。
- ・実施主体である医療機関の利用状況に応じて柔軟に展開する。

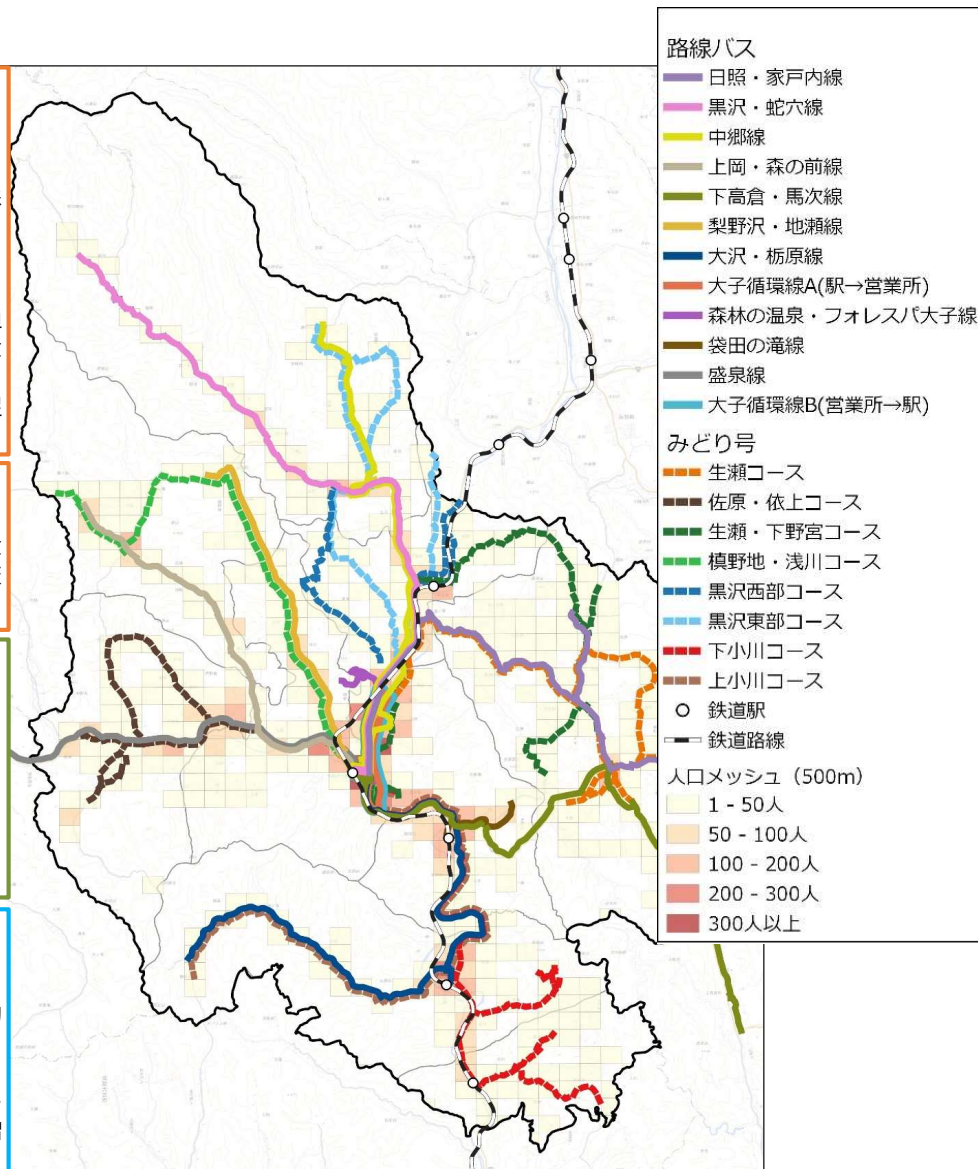
### <タクシー利用助成事業>

#### ■ 現在

- ・ドアツードアの少人数の輸送を担う公共交通
- ・自由経路ドアツードア型の運行形態のため、移動の自由度が高く、夜間帯も利用可能

#### ⇒ ■ 拡充

- ・新型コロナウイルスに係る臨時措置として実施している助成率引き上げの恒常化や、配付枚数の増加を検討する。



### <JR水郡線、高速バス>

#### ■ 現在

- ・都内、水戸市方面等への広域的な移動を担う。
- ・定時定路線を基本とし、大量輸送が可能。
- ・JR水郡線は常陸大宮駅以北で、輸送密度が低い課題がある。

#### ⇒ ■ 現状維持

- ・官民連携した利用促進等を行い、現状の運行サービスの維持を目指す。

### <路線バス>

#### ■ 現在

- ・鉄道等の広域交通の二次交通としての役割のほか、町域を跨いで周辺市町と本町、地域と市街地を結ぶ役割を担う。
- ・利用者が減少傾向にある一方、ほとんどの路線で通学利用がある。

#### ⇒ ■ 縮小

- ・利用者が少なく、通学利用として機能していない路線については、休廃止の可否を検討する。
- ・通学利用者の少ない路線については、AI乗合タクシーへの移行の可否を検討する。

### <町民無料バス(みどり号)>

#### ■ 現在

- ・地域と市街地を結ぶ役割を担う。
- ・運賃無料で利用できる。
- ・利用者が減少傾向にある。

#### ⇒ ■ 縮小

- ・利用者が少ない区間については他のルートとの統廃合などを含めた効率化の可否を検討する。

### <スクールバス>

#### ■ 現在

- ・児童、生徒の通学の移動手段として機能。
- ・将来的な小中学校の統廃合により、需要が高まることが予想される。

#### ⇒ ■ 現状維持

- ・現状維持を基本とする。
- ・将来的な小中学校の統廃合の動向に合わせ、適宜再編を行う。

■交通モード別の再編内容

役割	交通モード	路線名	再編方針	再編の考え方	再編内容
広域	鉄道	JR水郡線	・事業者である東日本旅客鉄道株式会社をはじめ、県や沿線自治体及び地域と一体となって利用促進などの取組を推進する。	・現状維持	・現状維持 ※路線維持のため、利用促進の取組を推進
	高速バス	大子・大宮・太田線	・事業者と連携し、利用促進に向けた取組を推進する。	・現状維持	・現状維持
	路線バス	下高倉・馬次線	・通学利用のある路線を維持し、通学に影響がなく、利用数の少ない路線については、休廃止の可否を検討する。 ・利用の少ない日中の時間帯の運行本数を削減し、通勤・通学の利用が増え、大量輸送が求められる朝・夕の本数増加を検討する。	・現状維持	・現状維持
		盛泉線		・現状維持	・現状維持 ※県の補助事業の動向等を踏まえて再編を検討
奥久慈おでかけ快速バス	・期間を限定しての実証実験を継続し、結果を踏まえ、本格運行を検討	・本格運行の可能性を検討			
地域間	路線バス	日照・家戸内線、黒沢・蛇穴線、上岡・森の前線、梨野沢・地瀬線、大沢・栃原線、大子循環線、袋田の滝線		・現状維持	・現状維持 ※スクール利用者数の動向等を注視し、適宜運行ダイヤの見直しやAI乗合タクシーへの移行の可否を検討
		中郷線	・通学に影響がない路線として、休廃止の可否を検討	・運行系統の休廃止の可否を検討	
		森林の温泉・フォレスバ大子線	・通学に影響がない路線として、休廃止の可否を検討	・運行系統の休廃止の可否を検討	
	町民無料バス(みどり号)	生瀬・佐原・依上、生瀬・下野宮、楨野地・浅川、黒沢西部、黒沢東部、下小川、上小川コース	・各乗降所ごとの利用実績を整理し、運行ルートの整理を行うことで、費用の削減、適正化を図る。	・各ルートの利用状況を踏まえて一部効率化の可否を検討	・一部効率化の可否を検討(ルート、ダイヤ等の変更)
地域間市街地内	タクシー利用助成	-	・現状の3/4の助成率について恒常化を検討する。 ・一部、助成枚数が不足し、経済的負担の大きい利用者があることから、助成枚数の交付枚数の増加を検討する。	・代替となる交通モードがなく、需要が高まっていることから拡充を検討	・助成率の引き上げや助成枚数の増加など拡充の検討
	AI乗合タクシー	-	・利用者のニーズに応じた最適な運行が可能であることから、町の公共交通の基軸とし、運行体制の拡充を図る。	・今後の公共交通の主軸に位置づけ、運行体制の拡充を行う。	・運行日数、運行台数等の拡充
	新たな交通システム	未定	・行楽時期に限定しての観光地周遊型の路線バスの運行などを検討する。 ・新たな交通モビリティについて、近隣自治体における実証実験を注視し、また、必要に応じて当町においても実証実験を行い、利用者のニーズに即した新たな交通システムの構築を検討する。	・利用者のニーズや新たな交通モビリティの情勢などを注視し、必要に応じて新たな交通システムの導入を検討する。	・観光客の2次交通を確保する新規路線バスの検討 ・中心市街地を回遊する小さな交通の検討 など
その他	スクールバス	冥賀線、池田線、下野宮線、さはら線、高柴線、西金線、上野宮線、中郷線	・現状維持を基本としつつ、将来的な小中学校の統廃合等に合わせ、路線の統廃合や一部AI乗合タクシーへの転換を検討する。	・現状維持	・現状維持 ※将来的な小中学校の統廃合の動きに併せ、適宜再編
	障害者等通院送迎サービス	-	・運行経費に係る補助等の支援を継続し、利用者の利便性の維持確保に努める。	・現状維持	・現状維持